

“自然”という原点に返る、雄大な富士の麓の小さな旅へ。

日本全国、そして世界の人々から愛され、親しまれている“富士山”。五合目に向かう登山道には車が連なり、たくさんの登山者や観光客でにぎわいます。そんな“日本最高峰”としての魅力もさることながら、富士山にはもう一つ、大切な宝物があります。

富士山の裾野に広がる原生林は自然の宝庫。その中には無数の動植物が棲息し、森もまた世代交代を繰り返しながら、新しい生命を育んでいます。

富士山自然休養林は、“人と自然がふれあう森”として国(林野庁)から選定された国有林です。



富士宮市、富士市、裾野市、御殿場市、小山町にまたがる1,765haの山麓にはたくさんの遊歩道があり、誰もが気軽に散策や森林浴を楽しむことができます。雄大な原生林の中に身をゆだね、自然のリズムで歩いていると、いつの間にか忘れていた、“ささやかだけれど一番たいせつなことに気がつくかもしれません”。

ハイキングの所要時間は往復1時間から半日。独立峰ならではの植生や地形、展望を満喫できる、13のコースをご紹介します。安らぎと感動と元気に、大自然の恵みをカラダいっぱい感じるひとときを、富士山麓の森でお過ごしください。

富士山自然休養林のご利用にあたって

重要な環境を後世に伝えるために

利用の心得

- ①環境悪化と野生動物への悪影響を及ぼさぬよう袋を携帯し、ゴミを持ち帰りましょう。
- ②登山道、ハイキングコース以外には入らないください。侵入により植生が荒らされ、落石の危険があります。
- ③動植物の採集、樹木の伐採・枝折り、岩登・岩石・土壌など、自然物の採集・移動を行わないでください。
- ④植生保護と崩落防止のため、ストックはできるだけ使用しないでください。使用する場合は先にキャップを装着してください。
- ⑤野生鳥獣保護、他のハイカーへの配慮の観点からベト等を連れての立ち入りは控えてください。
- ⑥他の利用者とのすれ違い、追い越し時には、足下の植物に注意しながら互いに譲り合ひましょう。また集団で歩道を利用する場合には、極小一歩列をとり、他の利用者や動植物に細心の注意を払ひましょう。
- ⑦キャンプやたき火はできません。

リュックサックの中身

装備はコンパクトに！

- ☐ ラジオ ☐ 衣類 ☐ 雨具 ☐ タオル ☐ 軍手
- ☐ くすすり ☐ ヘッドランプ ☐ 食料

服 装

身なりを整えて快適なハイキングを！

- ☐ 日射病対策と障害物から頭部を守ってくれる帽子を。上着は長袖の方が寒暖の差に対応しやすいです。気象の変化が心配される時は、セーターなどを準備しておきましょう。
- ☐ 登山靴やトレッキングシューズが靴底の厚いもので歩きましょう。

登山の注意！

- ☐ クマ対策のため腰鈴など音の出るものを必ず携帯しましょう。手持ちなど万全な準備をし合い、登山しないでください。
- ☐ 危険箇所の通行や雨天時は十分にご注意ください。無理せず引き返すことも重要です。

周辺施設のご紹介

富士宮口五合目	P 350台
御殿場口新五合目	P 450台
須走口五合目	P 200台

高鉢駐車場 P 20台

※東名富士ICから約60分

水ヶ塚公園 P 300台

※東名富士ICから約55分

西白塚駐車場 P 400台

※東名富士ICから約50分

PICA表富士 ☎0545-54-5881

※東名富士ICから約45分

路線/バスのご案内

○8月下旬から9月上旬は富士宮口五合目まで、8月下旬から11月下旬までは二合目(水ヶ塚)まで三島駅より運行します。○登山シーズン(7月上旬から9月上旬)は、新富士駅・富士宮駅・御殿場駅より運行します。詳しくは各バス会社にお問合せください。

お問合せ先

富士急シティバス	☎055-921-5367
富士急静岡バス	☎0545-71-2495
富士急モビリティ株式会社	☎0550-82-1333

富士山自然休養林保護管理協議会

静岡森林管理署・静岡県・富士宮市・富士市・御殿場市・裾野市・小山町(公社)静岡環境緑地会・富士急行(株)(株)ビカ・富士山須山口登山歩道保存会

※R7.4 5,300部作成

大草原を眼下に宝永大噴火の火口を探検する。約1時間の小さな旅は、壮大な感動の連続。



標高2,400mの富士宮口五合目を出発。樹木はなく、高山植物のオンパレードの山頂に向かって延びる。六合目の山小屋からは平らな道が続く、駿河湾、相模湾、伊豆半島の眺望が満喫できる。宝永火口縁では、まるでギリシャの円形劇場を思わせる岩壁の迫力に圧倒される。時間によりあるなら、第一火口縁に降りて空を仰いでみよう。第二火口へと下り出した所で周遊道に合流し、カラマツやダケカンパに覆われた山道を下る。沢を横切り、下界の展望が開けてくると、まもなく五合目駐車場の奥端に出る。



Aコース PICA表富士～高鉢駐車場コース

所要時間 ●上り 2時間00分 ●下り 1時間40分

PICA表富士	60分	二合目登山道	60分	高鉢駐車場	60分
	50分		50分		

Bコース 高鉢駐車場～御殿庭下コース

所要時間 ●上り 1時間50分 ●下り 1時間30分

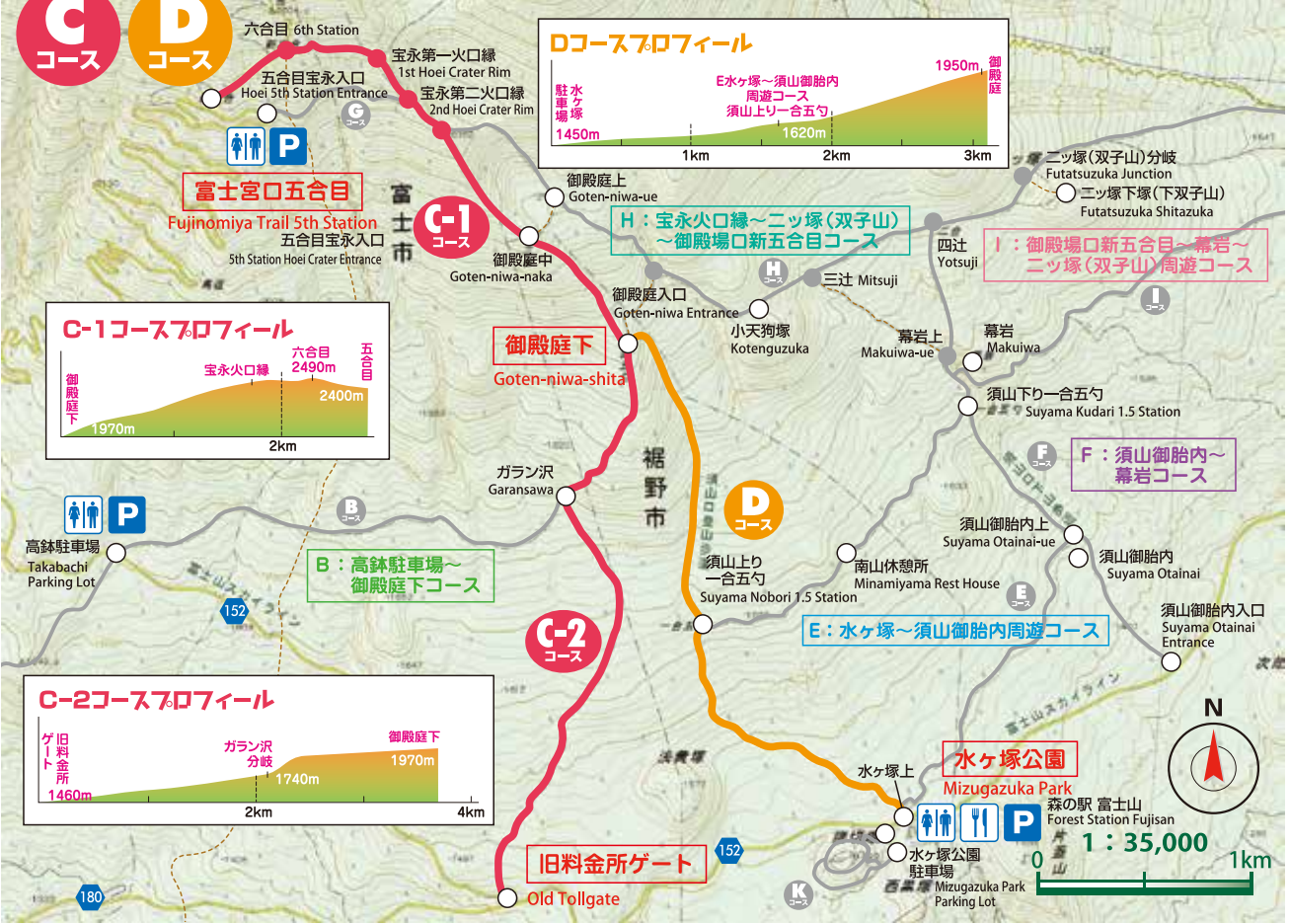
高鉢駐車場	60分	ガラ沢	50分	御殿庭下	50分
	50分		40分		

野鳥、昆虫、シカ、リス、野ウサギ…。出会いの予感に心躍る。原生林の自然と思い切り遊ぶ。

富士山を仰ぎ、駿河湾を見下ろす標高1,150メートルのPICA表富士からスタート。無数の動植物が棲息する原生林の中を北東に進む。PICA表富士、二合目目録道では、西白塚火口やミズナラ、カエデなどの自然林、高山植物の花々を見ることができ。林道を過ぎ、北上するとつれて樹林の数が減ってくる。風倒木帯に出るとまもなく、富士山スカイライン登山区間の高鉢駐車場に到着する。

高鉢駐車場付近の森を見上げる

高鉢駐車場付近の新緑



Cコース ガラン沢～御殿庭下～富士宮口五合目コース

所要時間 ●上り 3時間40分 ●下り 3時間5分

旧料金所ゲート	60分	ガラ沢	50分	御殿庭下	70分	宝永火口縁	25分	六合目	15分	富士宮口五合目	25分
	50分		40分		50分		20分		25分		

Dコース 水ヶ塚～御殿庭下コース (須山口登山歩道)

所要時間 ●上り 1時間45分 ●下り 1時間15分

水ヶ塚公園	45分	須山御胎内上	60分	御殿庭下	45分
	40分		45分		

笹の道、沢の道、原生林から火山口へ。起伏差や風景の変化をスリリングに味わう。

富士山スカイラインの登山区間入口(旧料金所)から御殿庭下、宝永第二火口縁を経て、富士宮口五合目に至るコース。海拔0メートルから富士山頂を目指す「富士山登山ルート3776」のコースでもある。山頂までの道を歩き、二つの沢を渡ることで展望が開ける。広々とした原生林からモミ林帯へと続き、浅い沢流に連なる所で高鉢駐車場からのコースと合流する。カラマツの傾斜を登り、尾根に出ると御殿庭下である。三つの宝永火口縁の尾根を伝い、第一火口底へと下る道の分岐点で左の山道に進み、六合目に至って富士宮口五合目に至る。

標高2,250m樹林帯を抜ける

須山上一合五勾付近樹林帯より



Eコース 水ヶ塚～須山御胎内周遊コース (須山口下山歩道)

所要時間 ●上り 2時間20分 ●下り 2時間30分

水ヶ塚公園	40分	須山御胎内上	30分	須山御胎内下	40分	水ヶ塚公園	40分
	40分		25分		40分		

Fコース 須山御胎内～幕岩コース

所要時間 ●上り 1時間00分 ●下り 50分

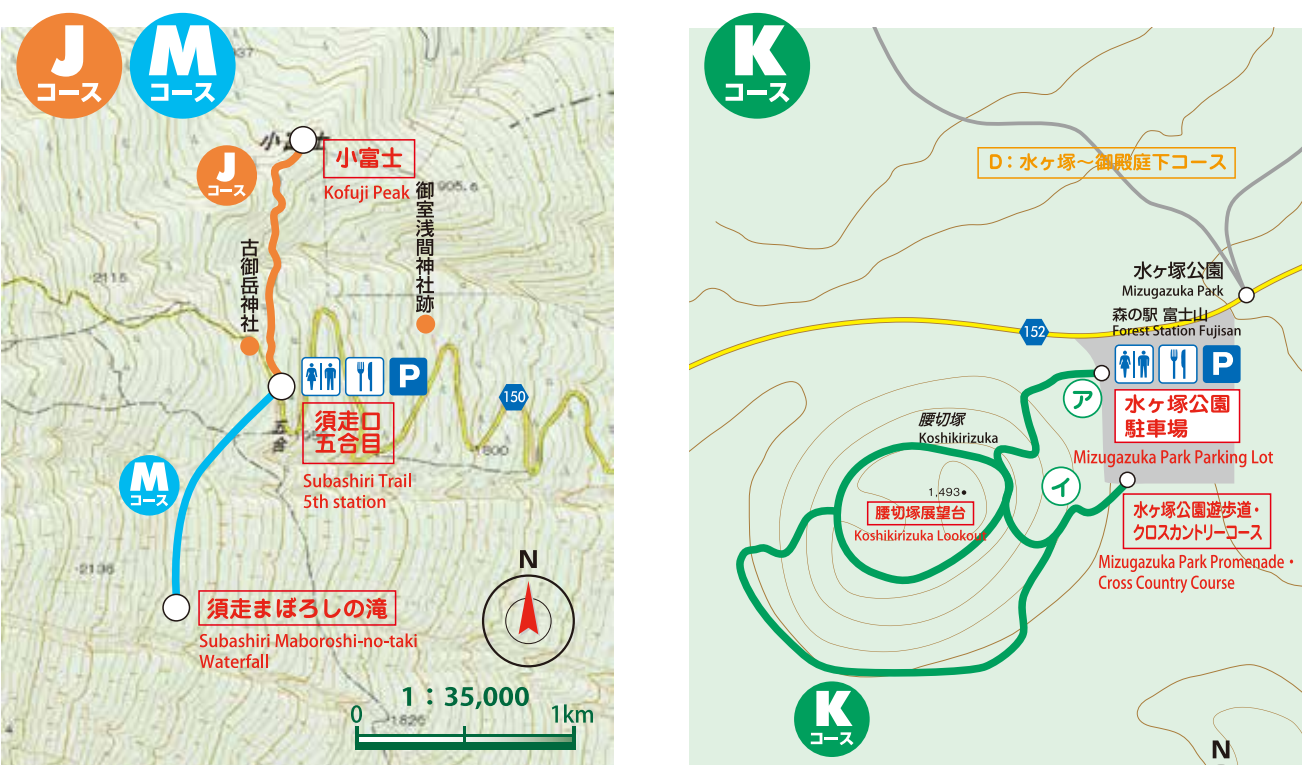
須山御胎内入口	20分	須山御胎内上	30分	須山御胎内下	10分	幕岩	50分
	15分		25分		10分		

まるで富士山の胎内にいるような安らぎの中で、フラットな山路をのんびり歩く。

水ヶ塚公園駐車場から富士山スカイラインを横断し、須山口登山道の分岐点を右に折れる。道はヘアピンカーブして、スカイラインと平行に御殿場方向に向かう。樹林のモミ林や風倒木帯、ミズナラ、カラマツなどの原生林を過ぎ、沢筋を横切り須山口下山歩道の交差点から2分程の須山御胎内に至る。幕岩に向かう山道を北上し、須山下一合五勾の分岐で西に向かい、水ヶ塚・御殿庭下コースの須山上一合五勾に合流。南下して水ヶ塚公園に戻る。

世界遺産富士山構成資産 須山口登山道

新緑の岩影



Jコース 須走口五合目～小富士コース

所要時間 ●上り 20分 ●下り 20分

須走口五合目	20分	小富士	20分
	20分		20分

Kコース 水ヶ塚公園遊歩道コース (腰切塚展望台)

所要時間 ●上り 15分 ●下り 20分(最短コース)

水ヶ塚公園	15分	腰切塚展望台	20分	水ヶ塚公園	15分
	15分		20分		

同じ標高線上を1時間で往復する気軽なコース。側火山ならではの造形とのかさが魅力。

須走口五合目の山小屋から遊歩道に入ると、鬱蒼とした森林地帯が続き、シラビソ、コマツガ、カラマツ、ダケカンパなどの原生林や、多彩な高山植物が生い茂る。20分ほど歩いて樹林を抜けると、そこはもう小富士の山頂。明るく台地が広がり、雄大な富士山の眺望や、山の中、稲穂の山の稜線が楽しめる。夏の最盛期としても人気がある。沢流には70mに達して岩壁の崖が伸びる。古御神社への参道や、カリヤス草原、まぼろしの滝へと続く遊歩道など、散策スポットも豊富だ。

須走口五合目第三駐車場から平道方向へ進むとアウセムロードに入る。樹林帯を抜け見開ける美しい山頂の眺望を20分ほど歩くと、雪解け水が岩壁の上を流れる「まぼろしの滝」が出現する。この滝は必ず見られるとは限らず、5月中旬～6月中旬の気温の上昇した午後に見られることがあり、まさに「幻の自然の奇景」である。なお、遊歩道付近には大変貴重な高山植物があるため、元日には十分に気を付けて歩いて欲しい。

J・Mのコースの利用はふじあざみライン運行可能期間に限る。

まぼろしの滝

腰切塚から眺める



Lコース 西白塚遊歩道コース

所要時間 ●上り 20分 ●下り 20分

西白塚駐車場	20分	西白塚	20分
	20分		20分

Mコース 須走口五合目～まぼろしの滝コース

所要時間 ●上り 20分 ●下り 20分

須走口五合目	20分	まぼろしの滝	20分
	20分		20分

展望台からの富士山は一見の価値あり。忘れられない絶景が待っている。

側火山(寄生火山)である腰切塚への周遊コース。水ヶ塚公園駐車場に隣接する「雪遊び広場」の入口から出発する。ウラボシモミの樹林を進み、急な階段を登り切り、左手に小い窪地の火口を見渡すと、早くも腰切塚に到着。頂上展望台からは、宝永火口縁が開けた富士山や富士山頂上、山麓の広大な原生林が見渡せる。また、水ヶ塚公園内にはウッドチップを敷設したクロスラントリコースがあり、ウォーキングやジョギングを楽しむことができる。

季節問わずに気軽に立ち寄れる癒しの森林遊歩道。

富士山スカイライン途中の西白塚駐車場から、自然林を楽しむ短い往復コース。南側の駐車場トレイル横の山道を出発。モミ林から風倒木帯を過ぎ、さらに進んでいくと西白塚に達し、プナ・ミズナラから風倒木帯を占め、春の芽吹きや秋の紅葉はすばらしく、低地では見られない美しさを感ずられる。

寄生火山の火口に続く道は、枯木や倒木の恐れから、通行禁止となっています。

カエデ広場

http://www.kyuyorin.jp

森林浴の森 日本100選!

富士山自然休養林保護管理協議会